一般質問要旨

本市の緑化推進について

創政クラブ　矢部　伸幸

議　員　桜におけるクビアカツヤカミキリの被害防止のため、ボランティアの調査組織を創設し、早期発見・駆除にあたることについて伺います。

産業環境部長　今後も被害の拡大が予測されるため、そのような活動を研究していきたいと思います。

議　員　緑の県民税の利用について、また本市における平地林の整備状況について伺います。

行政事業部長　緑の県民税は平成26年、27年の矢場平地林の購入に利用しました。この矢場平地林の整備を今年度中に完了させたいと思います。

議　員　市民と行政が協働して樹木の剪定（せんてい）を行うことについて所見を伺います。

行政事業部長　効果的な体制につなげられるよう研究したいと思います。

議　員　矢場平地林でのホタルの生育がかなえば、多くの集客が見込めます。利便性を高めるための橋の建設について、市長の所見を伺います。

市　長　矢場平地林と台之郷平地林を結んで回遊性を持たせ、橋の建設も検討したいと思います。

議　員　緑化推進のためのボランティア活動は、住民の生きがいにも寄与すると考えます。木の剪定は緑、桜の被害防止はピンクなど、色を使った「太田市ゴレンジャー」というようなボランティア組織の創設を提案したいと思いますが、市長の所見を伺います。

市　長　ボランティアは行政主導ではなく、地域で自主的に行われるものと考えますが、非常に面白い発想ですので、そこから何かが始まることを期待したいと思います。

交通弱者のための交通手段の確保について

日本共産党　石井　ひろみつ

議　員　おうかがい市バスの利用登録者数と実利用者数を伺います。

市民生活部長　平成31年3月末現在、利用登録者は3,703人、実利用者は年間で915人です。

議　員　実利用者が登録者の約25%にとどまっている理由を伺います。

市民生活部長　予約が取りづらい、停留所が遠く利用しづらいなどの意見をいただいています。

議　員　おうかがい市バスの一運行あたりの運行経費を伺います。

市民生活部長　委託料約5,600万円、年間運行数3万2,000から算出すると、約1,700円となります。

議　員　費用対効果を考えると、おうかがい市バスの運行を見直し、デマンドタクシーやタクシー券の交付を検討すべきだと思いますが、所見を伺います。

市民生活部長　タクシー券の交付等ではなく、効率的な予約・配車や運行方法を研究し、導入していきたいと思います。

議　員　高齢のドライバーによる交通事故が心配される中、運転免許証の返納を行いやすい環境整備が重要です。長年自動車を運転してきた人にはバス停まで歩く習慣がなく、高齢者には足腰が弱ってバス停まで歩くのが大変な人もいます。玄関先まで送迎を行うデマンドタクシーの導入やタクシー券の交付を行うことについて、市長の所見を伺います。

市　長　タクシー券の交付は予算の関係で難しいです。玄関先まで車を付けることを大原則としたうえで、交通弱者に対してぴったりとマッチングするような方法を考えていきたいと思います。

教育行政の充実と小中一貫の義務教育学校における諸問題について

日本共産党　水野　正己

議　員　2年前の文部科学省による調査でも、教員の負担感・多忙感の解消などが課題と答えた小中一貫校が64%あります。本市でその課題が現実化しないのかを伺います。

教育長　明言はできませんが、これから少しでも解決できると思います。

議　員　他の自治体の小中一貫校では、教科担任制および教員の小中の授業への相互乗り入れにより、教員の多忙化が深刻化し、子どもに向き合う時間が少なくなり、子どもに鬱憤（うっぷん）がたまったという報告もあります。本市でこうならないという保証があるのかを伺います。

教育長　本市では相互乗り入れは行いません。新たな試みのため、生み出す苦しみがあるのは承知しています。問題点は解決のために工夫をし、良いところを拾い上げていきたいと思います。

議　員　ある大学教授の調査では、小中一貫校の児童は非一貫校の児童よりも、小学校段階で、自分に対する自信があまり持てない、また小中全学年で、疲労を強く感じているなどの調査結果もあります。本市で期待している教育ができるのかを伺います。

教育長　2016年に義務教育学校が制度化され、いろいろな問題が解決できそうだと考えたのがきっかけです。課題があれば参考にします。

議　員　義務教育学校の設置により、今後20年間で10億円以上の負担が増える見込みです。設置を急がず、計画を見直して十分に研究すべきですが、市長の所見を伺います。

市　長　議会にも予算の承認を得ました。計画通りに進めたいと思います。

交通渋滞対策のための道路整備について

創政クラブ　大川　陽一

議　員　都市計画道路の本町新井線は、景観および回遊ネットワークの軸として早期開通が渇望されています。この事業の進捗状況を伺います。

都市政策部長　予定地の建物移転など、道路工事のための準備を行っています。一方で、八瀬川の改修に伴う関係機関との調整が長期化しているため、県と調整を図りつつ、市単独でもできることを検討していきます。

議　員　県道2号前橋館林線の栄町周辺では、幅員が足りず右折車線が設置できないため、慢性的な交通渋滞が起こっています。この道路の拡幅について所見を伺います。

都市政策部長　土地区画整理事業としての拡幅は困難であるため、用地の単独買収による拡幅を検討するなど、県へ働きかけたいと思います。

議　員　国道407号と佐野新井線が交差する熊野町交差点について、右折待ちが発生するとすぐに後続車両が渋滞してしまいます。渋滞解消のための道路改良について伺います。

都市政策部長　この交差点を南下した東本町交差点では、道路拡幅による右折車線の設置等が県により行われ、渋滞緩和の効果をあげています。同じように可能な範囲の交差点改良を提案したいと考えています。

議　員　本町新井線が開通すれば金山へのアクセスが格段に向上し、周辺の活性化が期待できると考えますが、市長の所見を伺います。

市　長　八瀬川の改修関連整備が長期化していますので、そちらが解決しだい早急に着手したいと思います。